

2020熊本県高等学校各競技大会に係る感染拡大防止ガイドライン（改訂版）

熊本県教育委員会
熊本県高等学校体育連盟

1. 大会の参加規定

(1) 部員（マネージャーを含む）の参加は、同意書（別紙1-1）を提出したものに限り、

2. 感染防止対策規定

(1) 主催者の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【主催者対策】

ア 大会当日前までに37.5℃以上の発熱が3、4日続いた日があったり、極度のせき・倦怠感などの症状があったものについては大会参加を見合わせる。

イ すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・部員）に、事前の健康観察及び検温を実施させ、37.5℃以上の発熱者や体調不良者への参加を断る。

ウ すべての来場者に、マスクを着用させ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。消毒液を会場入り口等に設置する。

エ 役員及び補助員は必要最小限の人員で業務を行う。

オ 放送室、記録室が密室、密集にならないよう工夫（人数を減らす、風通しを良くするなど）し、工夫できない場合はアナウンス等を行わない。

カ 大会で使用する施設や用具については適宜消毒を行う。

キ 会場内（トイレなど）に感染拡大防止のための表示を行う。

ク 報道各社に要請し、取材者数を最小限の人数で要請する。

ケ ゴミ処理での感染を防止するため、ごみ箱を設置せず、すべてのごみを各自の責任で持ち帰らせる。

(2) 顧問の責任において、下記の感染防止対策を講じる。【参加校対策】

ア 顧問・部員は、大会当日、検温を含めた健康観察を行い、検温確認表（別紙2）を提出の上、顧問は参加部員の体調管理に努める。

イ 検温の結果、37.5℃以上の熱又は体調不良（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）部員がいた場合は大会の参加を見合わせる。

ウ すべての部員に、移動中やアップ、試合中以外の時間はマスクを着用させ、こまめな手洗い・手指消毒・うがいなどを励行させる。

エ ミーティングなどは密集にならないよう配慮し、短時間で済ませる。

オ 水分補給は、各自で準備するなどして、コップを共用し飲み回しなどを行わないようにする。

カ 部員及び保護者の応援が許可された競技は、入場者名簿（別紙3・4）を提出の上、間隔を2m以上とって観戦するよう指導する。

また、大声を出さないようにし、拍手での応援を基本とする。（メガホン・太鼓等の鳴り物禁止）

キ バスでの移動は、過密乗車にならないように運行計画を工夫すること。

(3) 主催者の責任において、下記の対策を講じる。【大会・学校・報道関係者の対策】

ア 来場した大会関係者、学校関係者、報道関係者は会場入口で感染防止チェックおよび入場者名簿（別紙5）への記名を行う。また、必ず検温し、37.5℃以上の場合は入場を断る。

イ 取材は、大会会場外の指定の場所を基本とし、チーム関係者とメディア関係者は2m以上離れることとする。

3. 関係者から感染者または濃厚接触者が発生した場合の規定

(1) 大会前に関係者（部員・指導者・大会役員）から感染者または濃厚接触者が発生した場合は、主催者は大会の実施を再検討し場合によっては実施を見送る。